

心臓血管外科専門医研修ネットワークプログラム(中部版)

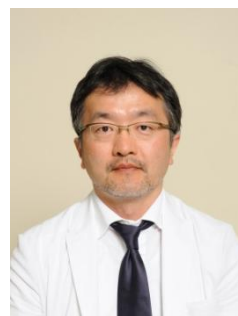
1 はじめに

プログラムリーダー 静岡県立総合病院 心臓血管外科主任医長 坂口 元一

心臓血管外科専門医を取得するには先ず外科専門医の取得が必要条件であり、さらに通算修練期間が最低7年必要です。しかも定められた認定修練施設での手術経験しか評価されず、その認定基準もかなりハイレベルです。まさにスペシャリストの育成を目標とする最たる診療科ともいえます。

心臓血管外科は生命リスクに直結する難易度の高い手術が多く高度な手術技能が必要とされます。また、複数の分野のスタッフの協力によるチーム医療が中心となることから協調性と指導力も要求されます。最近では各科において手術の低侵襲化が求められるようになり、心臓血管外科のなかでもインベーシオンの嵐が吹き荒れ新たな技術がスタンダードになりつつあります。従来のカリキュラムで学んできた基本的な手技や知識のみでは対処できない現状となっています。

静岡県中部地区の地域医療のなかでスペシャリストとしての心臓血管外科専門医を育成できるかどうかは私たちの今後の努力目標でもあり、また幅広い多彩な臨床経験とチーム医療の実践を提供できる環境は十分あると信じています。静岡で研修を希望するみなさん、少数精鋭主義の心臓血管外科研修で自分の能力を試してみたいはいかがですか。



2 目的

- ・患者の周術期管理と心臓血管手術の基本術式、手術技能を習得させる。
- ・スペシャリストとしての当科の役割、チーム医療の重要性を理解し、心臓血管外科医として信頼される態度、人格を修得させる。
- ・医療安全、感染対策、医療経済に配慮できる医師を育成する。
- ・心臓血管外科専門医取得に向けて手術経験を提供する

3 特徴

静岡県中部は専門医機構の認定修練施設が6施設有り、手術数も豊富な地域であります。

また、最近では心臓血管外科も開心術を主体とした虚血性心疾患手術、弁膜症手術、大血管手術、ステントグラフトを主体とした大血管手術、末梢血管手術、先天性心疾患に対する小児心臓手術など特殊化が進んできており、その手術手技も多様化してきています。そういったなか当地区の施設群はそれぞれの得意分野を有し、中部地区だけであらゆるスタンダードの術式を経験できる環境にあります。

4 研修カリキュラム

各認定施設の心臓血管外科専門医修練カリキュラムに即して指導します。

5 研修例

研修期間は、1施設につき、最低1年間～最高2年間の範囲で、半年単位で（1年、1.5年、2年）4施設の合計が5年となるよう、自由な選択を可能とします。

ただし、同一施設での研修は途切れないよう連続して受けていただき、研修順序は短期間の施設が先行で、後になるほど長期間の施設（同じ期間の施設は希望順）とします。

5-2 提供される研修機会

- ・ 県内施設合同の研究会、症例検討会、ビデオカンファレンス、講演会
- ・ 県内施設合同の wet labo
- ・ 学会、地方会の参加（発表）

5-3 取得可能資格

- ・ 一般外科修練後の外科専門医：研修4年目（卒後6年目）
- ・ 心臓血管外科専門医：研修5年終了後（卒後7年以降）

6 研修病院群

静岡県立総合病院の特徴

心臓血管外科専門医認定機構認定修練基幹施設

心臓血管外科専門医3名

当施設は主に成人の心臓大血管手術が主軸となっています。そして虚血性心疾患、弁膜症、大血管の手術の比率がほぼ均等であることから偏りのない手術を経験できると思います。

また、患者や社会のニーズに答えた新しい術式も積極的に取り入れ、off pump CABG はもちろんのこと 2013 年からは2人のステントクラフト指導医が加わり、胸部及び腹部大動脈疾患に対するステントクラフト治療を行っています。最近では小切開による MICS 手術にも積極的に取り組んでいます。

循環器病センターが併設されて循環器科、救急科など他科の専門スタッフとの連携が円滑に行われ、心血管にかかわらず総合的な診療が可能であります。さらに最新の IT システムを駆使しての画像診断が可能となっています。ハイブリッド手術室も完備されており、TAVR の準備をすすめています。

静岡市立静岡病院の特徴

心臓血管外科専門医認定機構基幹施設

心臓血管外科専門医3名、外科指導医1名、外科専門医4名

一般500床、感染症6床、ICU 8床、HCU 12床

静岡市立静岡病院は明治2年設置された藩立駿府病院を前身とし、創立140年以上となる歴史のある病院で、静岡市の中心部に位置しています。早い時期から循環器疾患の治療に注力していて、全国的に有数の心臓血管外科手術件数を誇っています。循環器科との連携にも力を入

れていて、平成 20 年の新東館オープンに伴い心臓血管外科、循環器科合同でハートセンターを立ち上げ、症例検討会、ICU、CCU、HCU 管理などでより緊密な関係を築き、診療科にこだわらずに患者さんに最も適した治療を提供しています。当院心臓血管外科の治療圏は静岡市にとどまらず、静岡県中部地方を中心に、県下全域から手術患者の紹介をうけています。緊急症例も多く、重症例に対しては人工呼吸器や IABP が装備されているモバイル CCU（ドクターカー）に医師と看護師が同乗し他の施設からの移送を行っています。

ステントグラフトに関しては平成 21 年にプログラムを開始したところで、今後力を入れていく分野と考えています。

平成 24 年度にはハイブリッド手術室が完成し TAVR（カテーテルによる大動脈弁置換）実施に向けて準備を進めています。低侵襲手術にも力を入れていて、MICS、debranch TEVER も導入しています。

通常の心臓血管外科手術だけでなく、複合疾患や再手術例、緊急例など重症例を多数経験することができますので、更にも上を目指した研修を希望される、熱意ある方を求めています。

静岡赤十字病院の特徴

現在、当院では 2 名の心臓血管外科専門医が中心となり心臓および脈管疾患の外科治療にあたっておりますが、三岡 博血管外科部長を中心とする脈管疾患の治療を得意分野としております。胸部および腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療をはじめ、頸動脈ステント、下肢静脈瘤に対するレーザー治療等、先進的な治療を積極的に導入し良好な結果を得ております。

心臓疾患においては循環器科と親密な信頼関係を保ち、カテーテル検査・治療やペースメーカー治療に人的交流が積極的に行われ、研修医にとっては関連領域についても学ぶ機会が用意されております。

藤枝市立総合病院の特徴

当院は静岡県中部、志太榛原圏の中核をなす総合病院です。平成 7 年、新病院の開院と同時に心臓外科が開設され、この地域で唯一心臓血管外科の手術ができる施設となりました。以来この地域の皆さんが、地元で安心して心臓血管手術を受けられるように、診療に取り組んでいます。

当科は心臓血管外科専門医制度における浜松医大第一外科の関連施設となっており、心臓血管外科専門医 2 名を含む 3 名で、虚血性心疾患、弁膜症、胸部や腹部の大動脈瘤など成人の心臓血管外科疾患全般の手術を施行しています。また平成 23 年より新しく大動脈瘤に対するステント治療を導入いたしました。平成 25 年 1 月からは手術室に移動式高機能血管撮影装置が導入され、血管外科領域の治療が充実してきています。

7 病院群の実績

研修内容 / 研修施設		静岡県立総合病院	静岡市立静岡病院	静岡赤十字病院	藤枝市立総合病院	
開心術	冠動脈バイパス術	人工心肺使用	3	16	8	12
		人工心肺非使用	20	106	0	3
	弁膜症手術		43	151	6	16
	先天性心疾患手術		0	4	0	1
	胸部大動脈手術		33	71	8	11
	その他の開心術		6	10	3	2
非開心術	腹部大動脈手術		32	57	2	8
	末梢動脈手術		14	37	76	18
	その他の手術		9	278	64	42
	ステントグラフト使用胸部大動脈手術		0	10	20	3
	ステントグラフト使用腹部大動脈手術		0	16	39	20
	末梢動脈のインターベンション		0	0	58	13

8 研修者の要件及び処遇

募集人数：2名程度／年間

- 1) 要件 採用は書類審査及びプログラム運営委員による面接を行い決定
- 2) 処遇 研修を受ける病院の医師処遇による

9 研修終了後の進路

- ①病院群病院へ就職
- ②病院群以外の病院への就職
- ③大学への進学及び学位取得

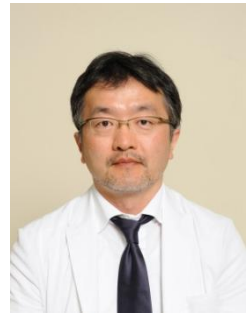
10 プログラム運営委員(◎:プログラムリーダー)

◎静岡県立総合病院 心臓血管外科主任医長 坂口 元一

1992年 京都大学医学部卒

心臓血管外科専門医、胸部外科指導医

大学卒業後に京都大学心臓血管外科、大阪赤十字病院心臓血管外科で心臓外科の初期トレーニングを経てオーストラリアのオースチン医療センターでは冠動脈バイパス術のパイオニアである Prof. Buxton のもとで臨床トレーニングを受けました。その後は京都での研究生活の後に倉敷中央病院で9年間過ごしました。研修医の頃は辛い毎日でしたが、今日の心臓外科トレーニングは飛躍的に改善してきていると思います。ぜひ、心臓外科を目指してください。



静岡市立静岡病院 心臓血管外科 科長 山崎 文郎

1981年 京都大学医学部卒、医学博士

心臓血管外科専門医、外科指導医、胸部外科指導医

循環器疾患は、曖昧なことの多い臨床医学の中ではクリアーカットな分野です。治療や薬物の効果が様々なモニターに直ちにあらわれ、自分のやったことの結果が即座に患者の状態に反映されていきます。

特に循環器科のカテーテルインターベンションや心臓血管外科手術はさらに直接的に（物理的に）治療を行い、失われたあるいは障害された機能を回復することができます。重篤な状態の患者さんを自分の手で治すという実感を得ることができるやりがいのある領域です。ただその分治療の質が結果を左右してしまうので、その責任は重大です。

循環器系の治療に魅力を感じている方はしっかりと研修のできる施設で修練し、一人前の専門医を目指していきましょう。



静岡赤十字病院 心臓外科部長 東 茂樹

1977年 金沢大学医学部卒

心臓血管外科専門医、胸部外科学会指導医、外科専門医、外科学会指導医

当院では幅広い脈管疾患を扱っているのです、まずその診断・治療を学んでいただきたいと思います。



藤枝市立総合病院 第二診療部長 心臓血管外科 石神 直之

1980年 金沢大学医学部卒

日本外科学会指導医、専門医、心臓血管外科専門医、
心臓血管外科学会国際会員

私は大学卒業後、地元の静岡県に戻り、浜松医大第一外科に入局しました。心臓血管外科を志し、浜松医大、榊原記念病院、静岡県立総合病院などで臨床経験を積み、2001年に当院に赴任いたしました。

研修される先生方には、若いうちにいろいろな病院で修業し多くの経験を積まれることをお勧めします。

まずは最初の関門となる外科専門医取得のための心臓血管外科研修のお役に立てればと考えています。

